

令和7年第2回議会 参考資料

[説明項目]

- 1 「第14次財政収支計画」(令和5～8年度)の中間振り返り

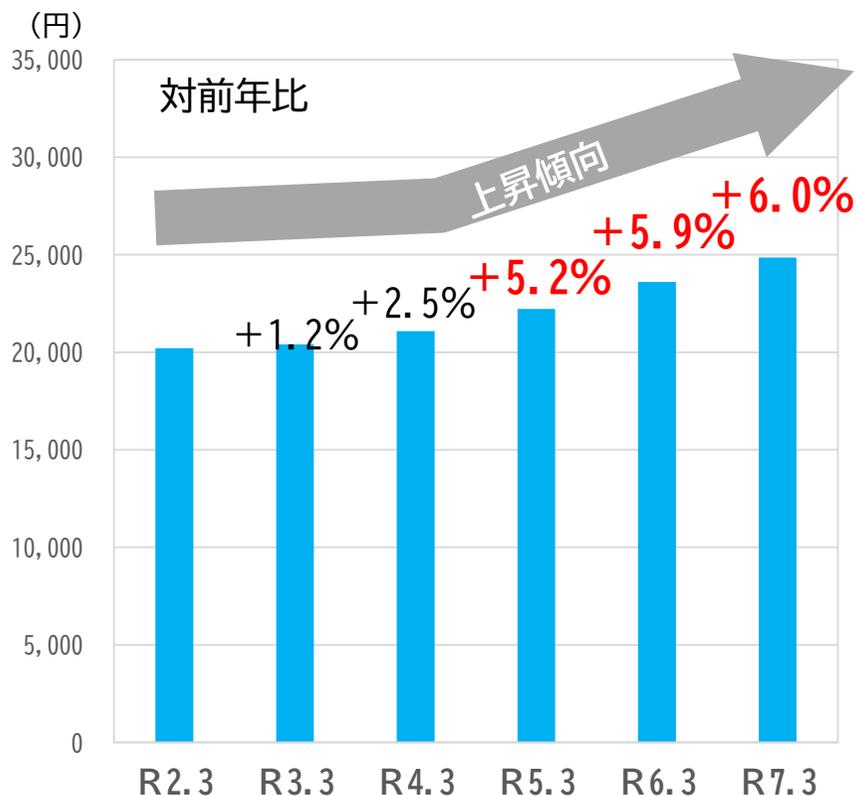
1 「第14次財政収支計画」（令和5～8年度）の中間振り返り

「健全経営の維持」は第14次財政収支計画の重点施策の1つであるが、近年の物価上昇等、社会経済状況が変化している。

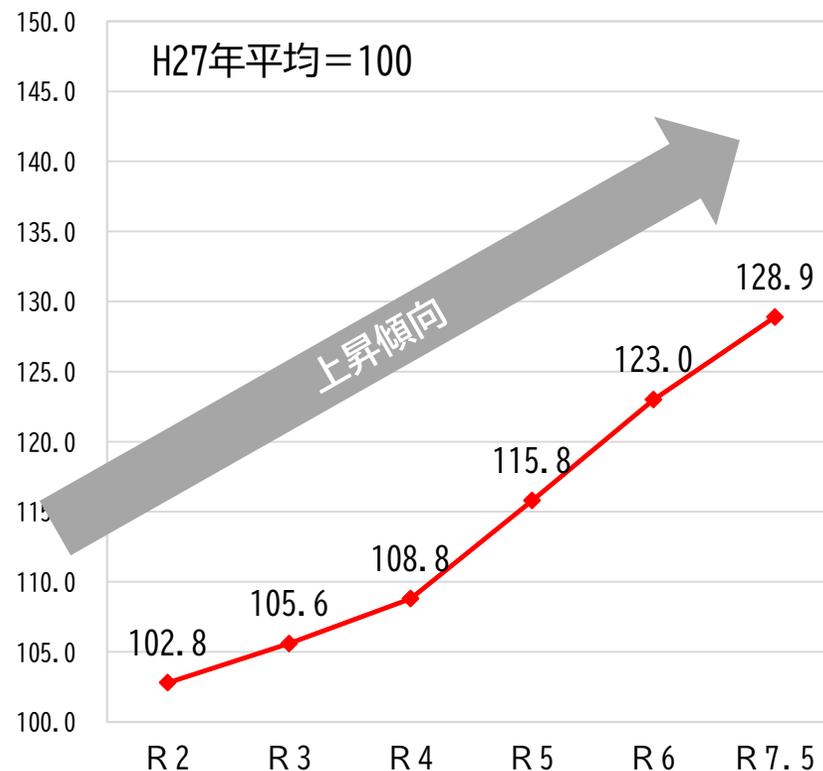
1 「第14次財政収支計画」(令和5～8年度)の中間振り返り

社会経済状況の変化

労務単価
(公共工事設計労務単価【全業種】)



資材価格
(建設資材物価指数※【電気機械・福岡】)



※「一般財団法人 建設物価調査会」より

✓物価高騰の影響等により、労務単価及び資材価格が上昇傾向

1 「第14次財政収支計画」（令和5～8年度）の中間振り返り

社会経済状況の変化

水道施設に対するニーズ

能登半島地震での上下水道の被害



水道管の老朽化による破損（京都市）

※写真の出典：国土交通省ホームページ

✓生活インフラである

水道施設の地震及び老朽化対策に対する社会的要請の高まり

今回の報告

計画期間（R 5～8）の半分を経過した
第14次財政収支計画の中間振り返り

**（１）主要事業（資本的支出）
について**

【重点施策】

【主要事業】

施設能力の確保

①海水淡水化施設の設備更新

②牛頸浄水場の改良・更新

維持管理の強化

③水質管理機能の強化

④管路の耐震化

耐震機能の強化

⑤福岡導水施設地震対策

地球温暖化対策の推進

健全経営の維持

1 「第14次財政収支計画」（令和5～8年度）の中間振り返り

事業ごとの実施状況

① 海水淡水化施設の設備更新

供用開始後 約20年経過し、更新時期を迎えた機器の更新

【令和5～6年度の主な取組み】

- ・ 高圧RO膜設備の更新 等

(単位：百万円)

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画額	196	1,526	2,623	2,832
実績額※	72	548	1,102	-
差額	△1,102			

※R5～6年度：決算額、R7年度：予算額

高圧ROポンプ設備更新工事等の
発注を延期したことによるもの



高圧RO膜設備更新工事

- ✓ 令和5～6年度は一部工事の延期によりスケジュールに遅れが生じたが、**事業全体のスケジュールには影響はない**（令和18年度完了予定）
ただし、**物価高騰等の影響により、事業費増の可能性あり**

1 「第14次財政収支計画」（令和5～8年度）の中間振り返り

事業ごとの実施状況

② 牛頸浄水場の改良・更新

牛頸浄水場・送水施設の更新時期を迎えた機器の更新

【令和5～6年度の主な取組み】

- ・薬品注入設備の更新
- ・ろ過池防水の更新

(単位：百万円)

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画額	749	1,113	1,058	677
実績額※	975	477	751	-
差額	△410			

※R5～6年度：決算額、R7年度：予算額

更新対象設備（一部）の
延命化によるもの



薬品注入設備



牛頸浄水場 ろ過池

- ✓ 一部機器の修繕による延命化に伴い、事業費は計画よりも減少
スケジュールは概ね計画どおり進捗

1 「第14次財政収支計画」（令和5～8年度）の中間振り返り

事業ごとの実施状況

③ 水質管理機能の強化

残留塩素濃度低下事象や送水管路の二重化等による送水環境の変化に

【令和5～6年度の主な取組み】

対応するもの

- ・牛頸浄水場の脱水機増設
- ・送水施設における水質計器の増設

(単位：百万円)

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	(参考) R9年度
計画額※1	14	835	158	321	297
実績額※1	43	772	442	-	-
差額	△34				



水質計器

※1 一部収益的支出を含む。実績額はR5～6年度が決算額、R7年度が予算額

- ✓ 工事内容の見直しに伴い、事業費は計画よりも減少※2（令和7年度以降も減少）
事業期間も令和9年度から7年度へ前倒し予定

※2 【総事業費（R5～R9年度）】 計画：16億円、実績(予定)：12.6億円 10

1 「第14次財政収支計画」(令和5～8年度)の中間振り返り

事業ごとの実施状況

④ 管路の耐震化

「管路整備計画」に基づき、耐震化、危機対応の機能強化

【令和5～6年度の主な取組み】

- 下原系・夫婦石系幹線管路の整備 (単位：百万円)

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画額	2,864	3,379	3,764	4,281
実績額※	2,116	3,318	5,774	-
差額	△808			

地元調整に時間を要したもの

※R5～6年度：決算額、R7年度：予算額(R6年度からの繰越含む)



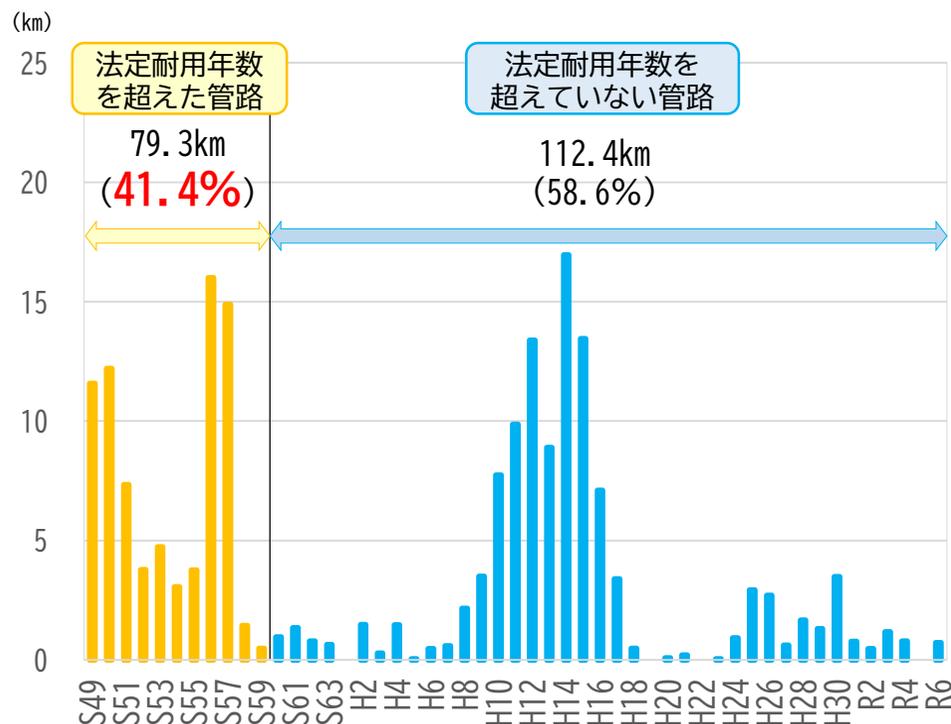
事業概要図

- ✓ 令和6年度以降、国庫補助金の要望額に対する当初内示額の割合(内示率)が低下してきており、**財源の確保が課題**

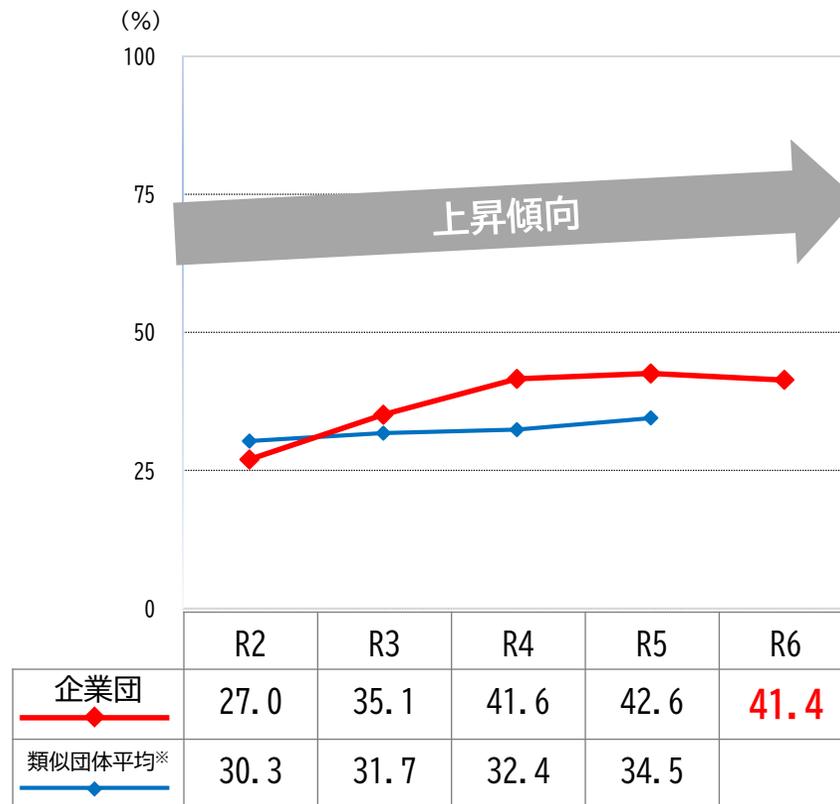
(当初内示額(内示率)) R6年度：481,588千円(71.7%)、R7年度：511,536千円(67.9%)

1 「第14次財政収支計画」(令和5～8年度)の中間振り返り

布設年度別 管路延長



管路経年化率 (法定耐用年数40年を超えた管路の割合)



※用水供給事業を行う県・企業団等(66団体)

✓ 管路の老朽化が進んでおり、適切な更新が必要

1 「第14次財政収支計画」(令和5～8年度)の中間振り返り

事業ごとの実施状況

⑤ 福岡導水施設地震対策

水資源機構が実施する地震及び老朽化対策(費用の一部を負担)

【令和5～6年度の主な取組み】

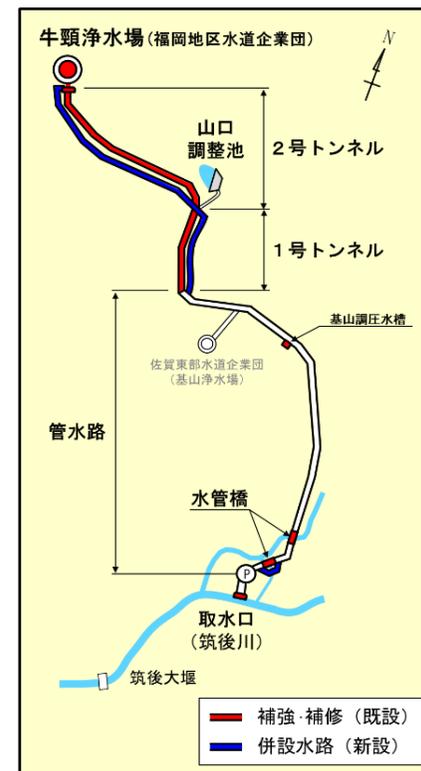
・2号トンネル併設水路工事

(単位:百万円)

	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
計画額	1,539	1,885	2,018	2,059
実績額※	1,523	1,708	1,297	-
差額	△193			

※R5～6年度:決算額、R7年度:予算額

1号トンネル併設水路工事の
工法検討に時間を要したもの



事業概要図

✓ 総事業費と事業期間の

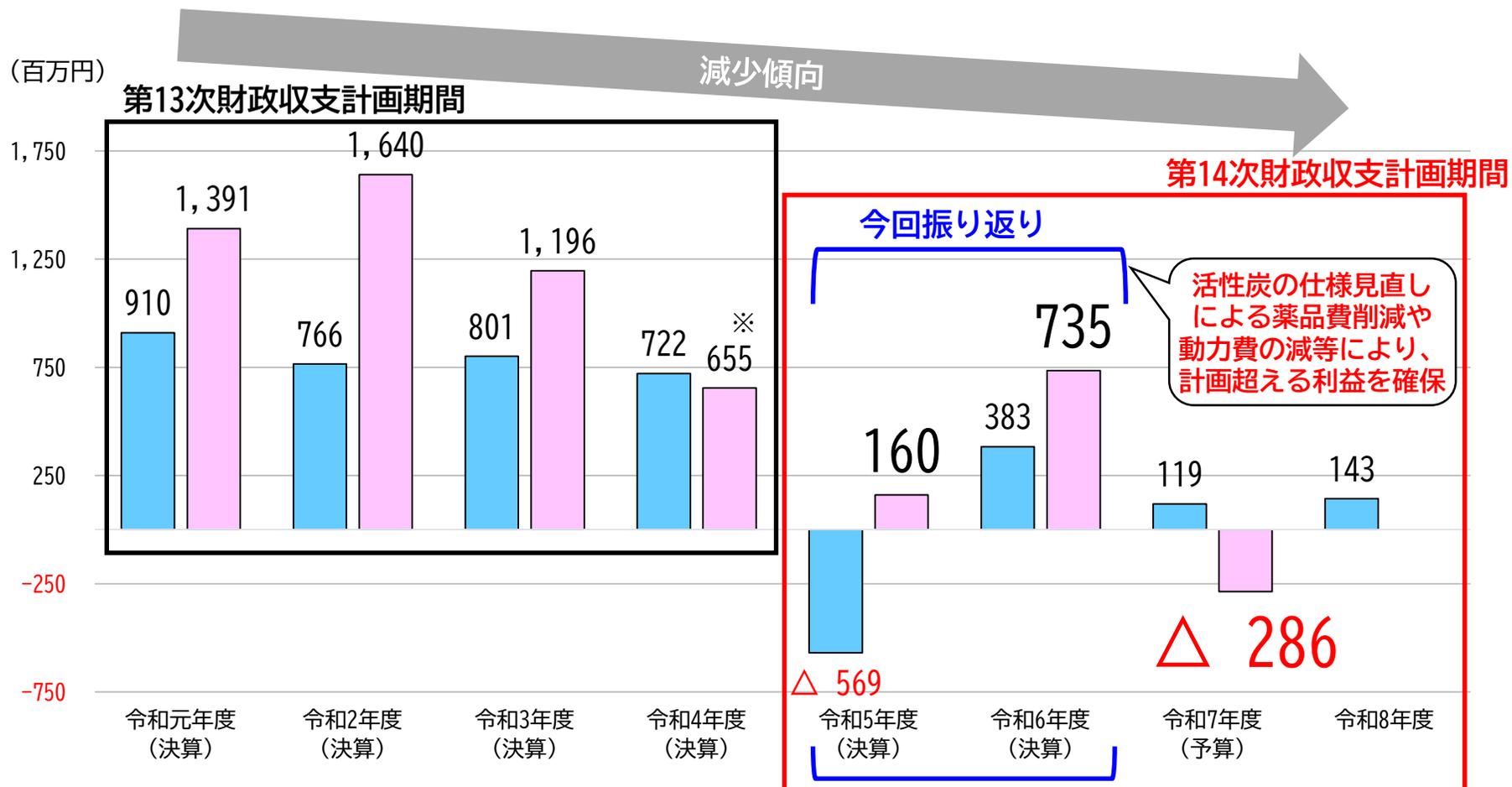
変更案について協議中(R7年第1回議会報告済)

(2) 財政収支 について

1 「第14次財政収支計画」 (令和5～8年度) の中間振り返り

単年度損益 (税抜き)

財政収支計画
決算/予算



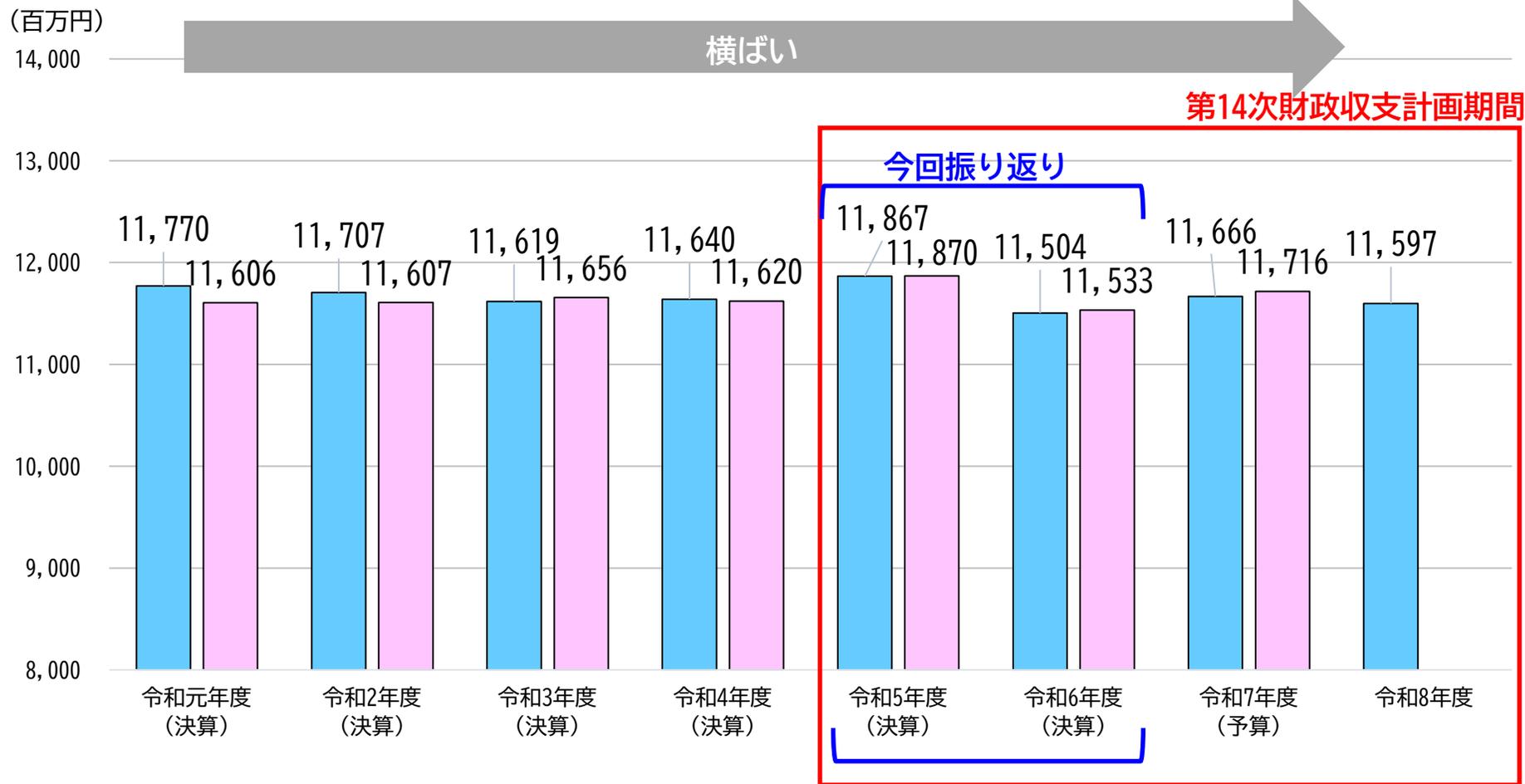
※ 令和4年度の利益は、過年度損益修正益分の利益 (非現金) 902百万円を含まない。

✓ 第13次財計期間と比べると**減少傾向**

1 「第14次財政収支計画」 (令和5～8年度) の中間振り返り

収益的収支の収益 (税抜き)

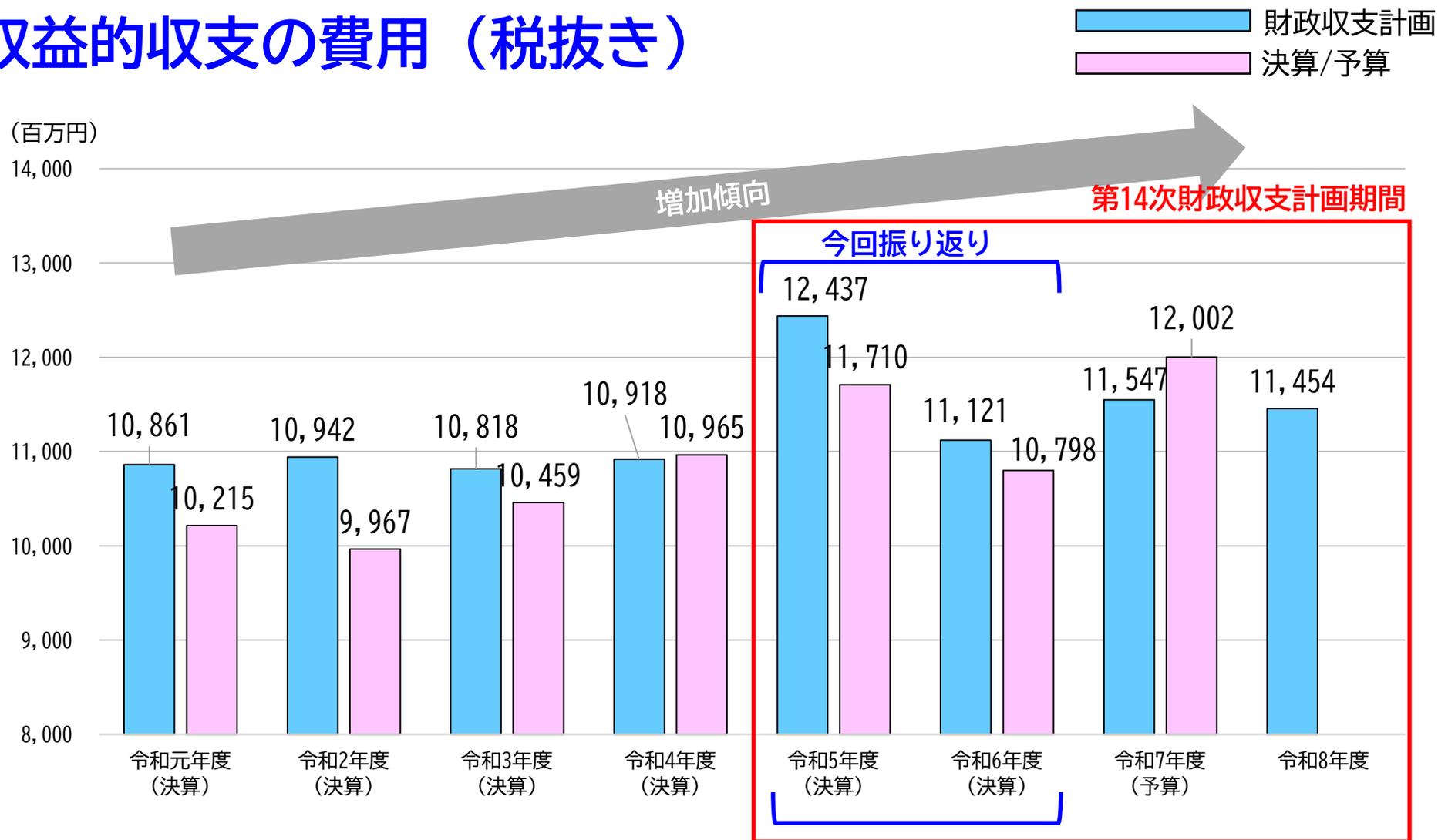
■ 財政収支計画
■ 決算/予算



✓ 収益は横ばい

1 「第14次財政収支計画」 (令和5～8年度) の中間振り返り

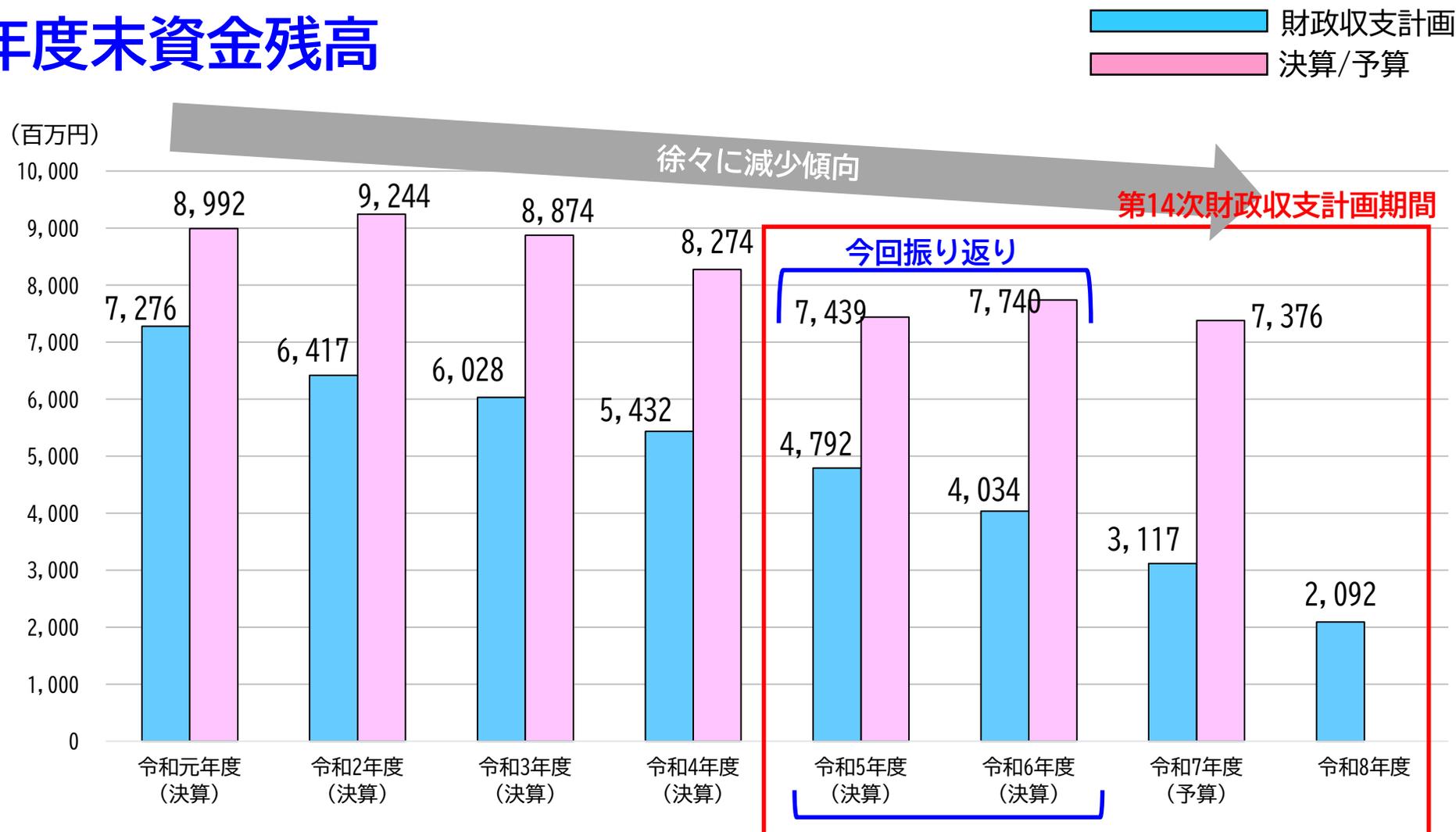
収益的収支の費用 (税抜き)



✓ 費用は物価高騰等により増加傾向

1 「第14次財政収支計画」 (令和5～8年度) の中間振り返り

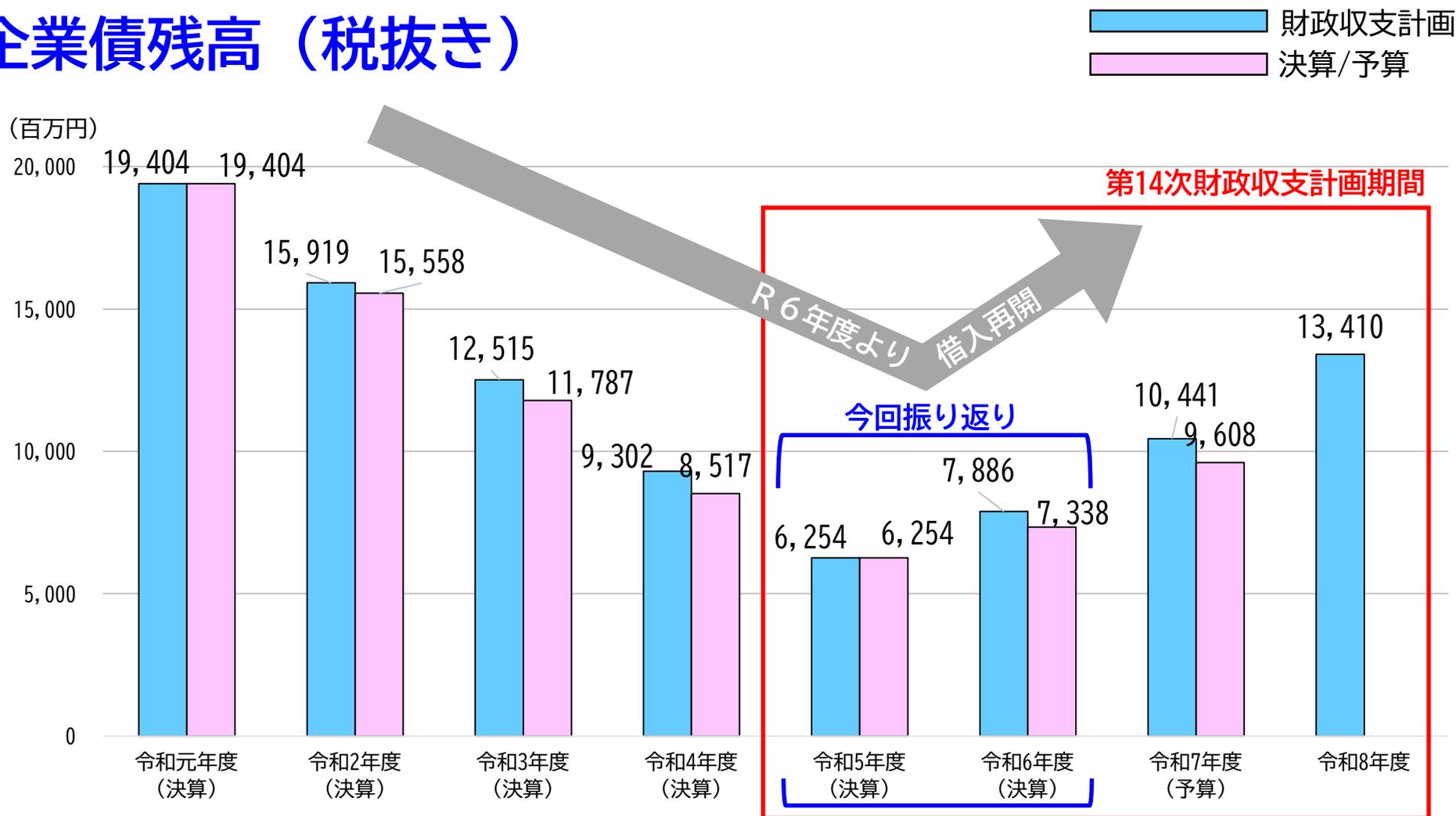
年度末資金残高



✓ 計画を上回っているが、徐々に減少傾向

1 「第14次財政収支計画」 (令和5～8年度) の中間振り返り

企業債残高 (税抜き)



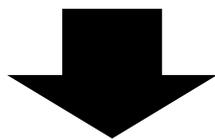
✓ 必要な建設改良事業を推進していくため、

R6年度より7年ぶりに借入再開

1 「第14次財政収支計画」(令和5～8年度)の中間振り返り

総括

- 単年度損益は、第13次財計期間と比べ減少
- 収益的収支は、収益が横ばいながら、**物価高騰等に伴い、薬品費や動力費などの費用は増加傾向**
- 資本的収支も、海水淡水化施設の設備更新や福岡導水施設地震対策において、**事業費増額の可能性あり**
- 水道施設の地震及び老朽化対策は社会的要請も高い。**
以上のことから、**今後も単年度損益は減少傾向となる見込み**



✓引き続き、中長期的な健全経営の維持に向け取り組む